

カトリック河原町教会だより

2014年5月

分かち合う ご復活のよろこび 11名が受洗



復活徹夜祭



復活徹夜祭（4月19日）のミサでは、11名の方が洗礼と堅信の恵みにあずかり、私たちの共同体の新たなメンバーになりました。復活の主日（20日）ミサ後のパーティーは聖堂前庭で行われ、手作りのお菓子や飲み物を囲んで、楽しい交流のひと時を過ごしました。

また、今年初めての試みとして、近隣の商店街や教会前の歩道を通る人々にも声をかけてパーティーに誘い、ご復活のよろこびを分かち合いました。

教会は秘跡

洛東ブロック担当司祭 鶴山 進栄

時々、教会に若者が少ないという声を聞く時があります。活気がなくて寂しいとか、教会の将来はどうなるか……などいろんなことを考えているからでしょう。しかし個人的にはそれ自体は大きな問題ではないと思っています。第二バチカン公会議に影響を与えた人物の一人、ドミニコ会士イブ・コンガールは次のように述べています。「聖書は、神の国の到来を統計上の数字によって判断してはならないと注意している。キリスト教的世界観においては少数派が全体を示しているのであり、教会はちょうど種子のように、全人類に命を与えるのである」¹。

活気とか人数の問題はあまり気にせず、もっと本質的なことに目を向けたらいいと思います。ちなみに司祭になって6年経ち、2年目以降は毎年、洗礼のための準備をさせていただいていますが、そのなかには若い世代の方もいます。受講を希望される方は、信仰を求めて、教会に来られています。私たちが共同体として、あるいは一人一人、あるいはお互いにとって

神様との出会いの場となっているのであれば、自然と共同体全体が活気あるものとなるでしょう。

「河原町教会だより」1月号で聖書と公会議文書を手元に置き、日々読み返すことをお勧めいたしました。それは「信仰の道を再発見するため」²です。私たちが神様との親しさを深めていく時、教会つまり私たち一人一人あるいは共同体全体として「秘跡……神との親密な交わりと全人類一致のしるし、道具」（教会憲章1項）となっていくのです。

公文書は確かに難しい表現もありますが、わかりやすい項目や表現を読んで思いめぐらせてみるといいでしょう。公会議を導いてくださった三位一体の神が、私たちがその交わりに招いておられることを信じて。

1『世界に開かれた教会』序言Ⅶ

2 自発教令「信仰の門」ベネディクト16世
信仰年開催の告示 No.2



特集 部会紹介 第2回 広報部

先月号から、教会の5部会について紹介しています。今回は、樋口リサ部長と部員たちから広報部会の紹介をいたします。

■ 広報部とはどんなところ？

広報部は、「教会の福音宣教活動に関する広報活動」を行うための部会です。大きく分けて4つの担当グループがあり、それぞれの奉仕活動をしています。

■ 4グループの活動内容は？

①「河原町教会だより」編集部

月1回の発行をめざし、企画・取材・原稿依頼・執筆・校正を行っています。毎月1度(第2日曜日)の編集会議と、メールでのやり取りを通して編集をしています。

編集会議では花井神父様を中心に、河原町教会の情報の伝達と、信仰生活の助けとなる内容を盛りこんだ記事の作成に向けて、熱く楽しく話し合っています。

現在、メンバーは8名です。年齢、経験、職業、信仰年数もさまざまですが、神様の道具として福音宣教への思いを大切に、助け合いながら取り組んでいます。

②ウェブサイト委員会

インターネットのウェブサイトを用いて、ミサの時間や信仰入門講座の案内など、河原町教会のさまざまな情報をお伝えしています。また、毎月の「河原町教会だより」や、信徒へのお知らせなども掲載しています。メンバーは現在7名で、日本および

世界の人々へ情報を発信することに、喜びとやりがいを感じています。この活動により、キリスト教に関心のある方々がひとりでも多く、河原町教会を訪ねてみたいと思えるような、そのようなウェブサイトをめざしています。



部会の集まり

③ 聖句の掲示板管理

神父様に選んでいただいた聖句を書き、月初めに掲示しています。「道行く人々や、向かいのバス停におられる方にも読めるように」とい

う神父様のご意向で、大きく太い文字で書いています。聖句を通して、一人でも多くの方が救いの恵みにあずかりますようにと祈りながら書いています。

④ 資料整理

河原町教会の文書や写真を、後世のために整理し保管しています。整理を通して、思わぬ発見も多く、河原町教会の歴史の重みを実感します。これらの資料を、教会の財産として、後々活用してもらえるように残すことを目標にしています。

■ 信徒のみなさまへメッセージ

現在「河原町教会だより編集部」と「ウェブサイト委員会」を中心に部員を募集中です。パソコン技術のある方はもちろん、企画や編集などで参加して下さる方も歓迎します。福音宣教のために、一緒に働きませんか。

喜びの国に ー四旬節黙想会からー

京都南部地区洛東ブロック合同四旬節黙想会が、3月22日(土)(10時~16時)桃山教会の担当で、当教会において行われました。

太田勝神父様(福音の小さい兄弟会)のご指導のもと、「貧しさを生きる」をテーマに、約100名が参加し、第1講話から第3講話を黙想しました。

各講話の中では、教皇フランシスコの使徒的勧告『福音の喜び』(Evangelii Gaudium)が所々に紹介され、その中から「信徒は教会内部にとどまるのではなく現代社会に出て行き、貧しい人々の苦しみを担い、福音化のために働く」者としての生き方が問われていることを強調されました。

黙想会の最後に太田神父様は、「貧しさを通して、神の国の喜びにあずかることができます。つまり、全てを失うからこそ、全世界を手に入れることができるのです。私たちもこの喜びの国に入る恵みを願いましょう」と締めくくられました。また、この黙想会では「分かち合い」の時も持たれました。

⑧ザビエル訪れ会では、訪問の結果、一名の方が入門講座に参加することになった。⑨洛東ブロック合同教育部会での決定通り、中高生一日鍊成会を望洋庵で五月十一日(日)に行う。

施設管理部 ①教会美化デーは予定通り実施した。②聖堂入り口の中央ドアに故障が生じたため、修理費用の見積りを依頼する。

広報部 ①初めて教団にいられた方のための案内板の案を提出、評議会承認された。②案内係の腕章と来訪者の受け入れ態勢については課題とする。③ウィンドウズXPサポートの終了に伴い、予算計上通り新規パソコンを購入した。更にウェブサイトの充実を図りたい。

■ 行事予定
四頁の行事予定欄に記載。

■ 協議事項

◇ 教会憲章の学びについて

「典札・教会・世界」各憲章の分冊を三冊ずつ購入し図書コーナーに設置した。勉強会の録音CD(全8枚)とともに利用を呼びかける。

◇ 平和旬間行事について

原発について考える講演会としては、どの意見が役員会から出されたが、再検討することとなった。

■ その他

①「召命のための祈り」を、第一日曜日のみ、ミサ前の祈りに追加する。

②ミサ中の盗難事件が発生している。不審者の侵入も報告されており、注意を呼びかけ、対策をとる必要がある。

キリシタン研究会 —高山右近を福者に—

河原町教会キリシタン研究会の菊井薫さんと李家隆美さんに、お話をうかがいました。

キリシタン研究会の始まり

今から35年前の1978年、京都教区へ赴任直後の田中健一司教ご指示のもと、日本二十六聖人に関する研究者でもあった故茨木見神父のご指導により、キリシタン研究会の原型が発足しました。当時は京都教区全域から多くの研究者が集まっていたため、河原町教会としての研究会独立への気運が高まり、1982年に河原町教会キリシタン研究会がスタートしました。

現在の活動

現在会員は約15名で、毎月第4日曜日のミサ後2時間、本を読んだり、研究報告をしたり、映像を見たりして和やかに勉強会を楽しんでいます。

年間特別行事について

2月に日本二十六聖人顕彰ミサ巡礼会、5月に都の聖母奉獻ミサ、8月には南蛮寺記念ミサ等を、京都キリシタン研究会と合同で、毎年実施しています。

高山右近の列福に向けて

2012年、大塚喜直司教のカトリック中央協議会・列聖列福特別委員

会委員長就任を機に、キリシタン研究会としても可能な限り列福運動への協力をお願い、活動を始めました。例えば、関連講演会のビデオ鑑賞、高槻教会右近研究会との情報交換、関連史跡（高槻、摂津高山、茨木千提寺、明石城址、金沢など）の巡礼などです。去る4月29日には、京都キリシタン研究会と合同で、禁教令で追放された右近が、オルガンチノ神父と潜伏していた小豆島（しょうどしま）への巡礼を行いました。

演劇活動を通して

演劇を通して高山右近への関心を高め、列福意義の理解を広く求める活動にも力を入れています。

昨年9月29日に河原町教会聖堂で、劇団フィオレッティの朗読劇「神の戦士『ユスト高山右近』」（菊井薫原作）の第1回公演を行いました。キリシタン研究会のメンバーが公演の重要な役割を担っています。その後、要請に応じて、1月19日に高槻教会右近会館で第2回公演を、3月30日に金沢教会聖堂で第3回公演を行いました。第4回公演は、大阪大司教区右近クラブ主催の「右近フェスタ6月8日」（大阪玉造・



2014年度 集會司式者

梅原 秀夫 辻井 芳一
越知 謙之助 宮川 督三

聖体授与の臨時の奉仕者

東 文恵 嶋崎 晴信
稲本 俊 Sr. 庄子 早苗
Sr. 大庭 早苗 高谷 房子
岡田 久美 Sr. 寺島 和子
岡田 亨 Sr. 中里 郁子
Sr. 河瀬 須恵 濱田 耕一
小森 百合

(50音順/敬称略)

城星学園/大ホール)で上演の予定です。幸いなことに、公演後のアンケートでは「右近を是非とも福者に」という声が多く寄せられ、最近では、マニラ公演の要請も受けています。

キリシタン史研究の意義

現代に生きるわたしたちは、神の恵みによって穏やかな信仰生活を送っていますが、そのために、命がけで信仰を守り抜いた人たちの歴史があったことを忘れてはなりません。キリシタン研究会では、キリシタン史を通して、先人たちの信仰に学び、この日本において、キリストの福音を広く伝えていく大きな役割を担っていると考え、この活動を続けています。

河原町教会四月評議会報告要約

開催日 二〇一四年四月六日(日)

■司祭団の報告

- ①金泰政神父は南部地区協力司祭に任命され、望洋庵に住まいを移した。
- ②祭壇奥の侍者移動用通路(兼避難路)が完成した。
- ③カトリック会館の水道管改修工事は四月十四日～六月十日を工事期間として完了の予定である。
- ④修築特別献金は、ほぼ目標額に近いが、引き続き協力をお願いしたい。

■部会報告

- 典礼部 ①聖週間の担当司祭について。
聖木曜日：村上眞理雄神父
聖金曜日：花井拓夫神父
復活徹夜祭：大塚喜直司教
復活の主日(十時半)：花井拓夫神父
②「聖週間の典礼」の新版の冊子を購入した。
- 財務部 維持献金の未納者名簿の整理が完了した。連絡方法については検討中である。
- 教育部 ①土曜学校の始業式は四月十二日に行う。②受洗者は二年生が一名、中学一年生が一名。初聖体は二年生が二名、六年生が一名の予定。(四月二十七日ミサで)③堅信は中学一年生が十三名の予定。④教区小学生侍者合宿に六名が参加した。⑤中高生会は四月十三日に新入生歓迎会を行う。⑥五月十一日にエリの集いのバザーを行う。
- ⑦キリシタン研究会では、四月二十九日に小豆島右近史跡巡礼を行う。

◆ 2014年5月・6月の行事予定 ◆

(6月は予定です。変更の場合があります)

行 事 予 定		
5 月	4 日	評議会5月例会
	11 日	エリの集いバザー
	25 日	衣笠墓地清掃
6 月	1 日	評議会6月例会
	8 日	聖霊降臨の主日
	15 日	三位一体の主日
	22 日	大塚司教様・花井神父様霊名のお祝い 南部地区合同堅信式 14:00
	29 日	教会美化デー

お知らせ

召命祈願ミサ・大塚乾隆神学生「朗読奉仕者」に

3月29日(土)11時から、聖堂において「召命祈願ミサ」が大塚司教司式により行われました。このミサの中で、大塚乾隆神学生が「朗読奉仕者」に任命されました。大塚神学生は聖書朗読を担当し、ミサ後の挨拶で「どうかわたしのためにお祈りください、わたしも皆さんのために祈っています」と話されました。

また、司教様から43名の小学生が「侍者合宿修了証書」を授与されました。



◇ 2013年「京都南部ウォーカーソン」実行委員会からの最終報告

昨年11月4日の第34回ウォーカーソンのスポンサーによる総献金額は1,304,616円で、以下のとおり送られたことが報告されました。

- ・「東日本大震災支援金・京都サポートセンター」に 450,000円
- ・「ネパールバンディプール村の教育活動支援」に 450,000円
- ・「フィリピン中部台風被害者への義援金」に 300,000円

※ 残金等は次年度の活動資金とされます。

英語ミサ(日・12時)は5月より第2・第4日曜日のみとなります

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語 第2・4)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00 花井 拓夫神父 (1F)

19:15 一場 修神父 (1F)

水曜日 10:00 村上 眞理雄神父 (1F)

19:00 花井 拓夫神父 (3F)

木曜日 15:00 花井 拓夫神父 (3F)

金曜日 19:15 村上 透磨神父 (1F)

※鶴山 進栄神父の個人講座をご希望の方は教会事務室にご相談ください。

◇信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父「秘跡を学ぶ」

5月15日(木) 14:00

6月5日(木) 14:00

7月31日(木) 14:00

テキスト『カトリック教会のカテキズム要約』

◇聖書通読会◇

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30~16:00

旧約聖書、新約聖書をグループで輪読しながら全巻を読む集いです。

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

指導 鶴山 進栄神父

毎月第3火曜日 10:30

参加ご希望の方は、事前に教会事務室までお申し込みください。◆10時からのミサはどなたでも参加できます。